

忘れてならない太陽の恵み

文明の負の遺産と言うべきフロンガスが地球の防護服のオゾン層を破壊し、紫外線の質を変えたことであって、太陽光線に対する誹謗中傷を見聞きしますが、仮に太陽光線の功罪を論じるなら、功が優ることは言うまでもありません。太陽は生態系の重要な要素であり、太陽の恵みがあつて実りがあり、生物は存続できることは自明だからです。

太陽光線の作用については、二十世紀の初頭までに紫外線の殺菌作用やビタミンDを生成する作用（抗クル病効果）など光化学反応に基づく作用が発見され、光線に関する研究は紫外線の作用を中心に進歩しました。今、世界的に大問題になつてゐるSARSの原因とされるコロナウイルスも日光消毒で簡単に

死滅するのは紫外線の作用です。一方、赤外線は熱線と別称されるように温熱作用が主とされましたが、二十世紀の後半に赤外線の温熱作用で生物の個体や組織や細胞を通常の生育温度より高温にさらすと、遺伝子に熱ショック応答と呼ばれる反応が起つて、熱ショック蛋白質と総称される蛋白質の合成が促され、内因性生体防御因子として作用することが明らかにされました。この蛋白質はストレスに対する抵抗性を誘導することからストレス蛋白質とも呼ばれますが、このように生物は常に太陽の恵みを受けて生きていることを忘れてはなりません。

熱ショック蛋白質の作用は蛋白質の品質管理

熱ショック蛋白質の発現は細菌から高等生物の哺乳類まで共通に

健康と光線

発行所
〒153-0063 東京都目黒区目黒
4-6-18

サナモア光線協会

年4回発行
会費年500円
電話 東京(03) 3793-5281
3712-5322

示しています。

熱ショック蛋白質

は標的蛋白質と結合して、その蛋白質の構造形

成や機能や活性を制御します。す

なわち蛋白質に構造上の間違いや

変性があれば機能を正常に回復

させる機転を促進するのです。こ

のよう蛋白質の品質管理機能を

シャペロン機能と言つ

ため、熱ショック蛋白質を分子シャペロンと

も言います。

光明 医学博士 宇都宮

サナモア光線療法の温熱作用について

—その3—

適応症の拡大につながる効果

サナモア光線協会

サナモア中央診療所

医学博士 宇都宮

サナモア光線療法の温熱作用について

—適応症の拡大につながる効果—

サナモア光線療法は太陽光線の全波長を放射する総合光線療法で、温熱作用はその一部ですが、これまでに経験したさまざま

な効果に、赤外線の温熱作用で合成される熱ショック蛋白質の相乗効果が関係して、肺癌や乳癌の治療で蛋白質を阻害する分子標的治療がわかつてこり」とが強く示唆されています。

夏季臨時休業のお知らせ

八月十四日(木)から十六日(土)の三日間、臨時休業致しますので、よろしくお願い申し上げます。

(株) 東京光線療法研究所
サナモア光線治療院

トピー性皮膚炎、関節リウマチ、関節症、酸化ストレスによる動脈硬化に起因する疾患（脳血管障害、心筋梗塞、脳梗塞）、高血圧、強直性脊椎炎、自己免疫疾患、潰瘍性大腸炎、多発性硬化症、うつ病などさまざまな病気に対する有効性が検討されています。

更にHIV感染者（エイズ）のウイルス量を減少させることができます。また蛋白質の高次立体構造形成のプロセスに何らかの問題が生じて蛋白質が凝集するアルツハイマー病への応用も検討されています。

されています。これまで温熱療法は主に癌治療で用いられてきましたが、近年、温熱療法の適応として、ストレス潰瘍（胃十二指腸潰瘍）、外傷、炎症、感染症、外科手術の前後、気管支喘息、アレルギー性鼻炎、ア

一病息災

一病息災

糖尿病

サナモア光線治療院

院長 医学博士 宇都宮 正範

病気の解説

糖尿病は、インスリンの作用不足により起こる慢性の高血糖を主徴とする、特徴のある代謝異常をきたす疾患群と定義されます。多くは遺伝的素因を有する人に、肥満、ストレス、運動不足などの環境因子が加わって発症しますが、遺伝的素因や背景もはつきりせず突然発症するケースもみられます。しかしながら、いずれの場合も食物が十分に身体で利用されるために必要なインスリンというホルモンの働きが不足することによって発症するという点に違いはありません。

筋肉、脂肪組織など全身の組織の糖・タンパク・脂質代謝の調節に重要な働きをするホルモンですが、その不足によって、筋肉組織などへの糖の取り込みは低下し、肝臓から血中への糖の放出が促進されるために高血糖が惹起されるのです。

つぎに糖尿病の発生頻度ですが、世界的規模で増加傾向にあります。本邦においても、過去30年間に糖尿病罹患者数は激増しており、1997年の調査で患者数は690万人、糖尿病予備軍といわれる耐糖能異常者は680万人と推定されています。また新規の糖尿病

罹患者は、男性約520万人、女性約560万人、合計1080万人になると仮定すると、2010年には糖尿病厚生労働省は推計しています。

このように、糖尿病は文明が進歩し食生活が豊かになることと歩調を合わせるように増加の一途をたどっていますが、最近では耐糖能異常者においても、心血管疾患の危険が高まるといえています。今後は、多飲・多

尿、全身倦怠感、体重減少などといった糖尿病による症状が出現する前に発見し、生活習慣や食生活を改善することにより、病気の芽を未然に摘み取るようになればなりません。

症例：60歳、女性。

主訴：糖尿病の治療目的。

起始・経過：10年前に糖尿病と診断され、以来、食事療法(1600 kcal)と運動療法に加え、経口糖尿病薬の内服治療を行ってきた。血糖のコントロールは良好でないが(ヘモグロビンA_{1c}:10%)、発症時に60kgあった体重を現在50kgで維持しており、合併症は併発していない。

治療：側臥位にて45分、5灯照射。腹部(BD)、上背部(BD)、腰部(BD)、膝(AB)、足裏(AB)。

経過：在宅での光線療法をほぼ毎日続けながら、月に1、2回の頻度で全身照射を開始したところ、以前に比べ体調は良く、血糖のコントロールにも改善傾向を認めている(ヘモグロビンA_{1c}:7.6%)。

*ヘモグロビンA_{1c}：血糖のコントロールの指標として用いられる数値で、正常値は4.8%～5.8%。

病気と光線療法

糖尿病は罹病期間が長く長期にわたる慢性疾患であり、食事療法や運動療法を日々実践する必要がある病気です。食事療法においては、個々の日常活動度に合った適正なカロリーに従い、運動療法は、ウォーキング、水中歩行など大きな筋肉をリズミカルに動かす有酸素運動を、一回30～60分程度、週4、5回行うのが良いとされています。サナモア光線療法は、内因性のインスリン分泌を促進する作用があるため、高血糖状態を改善し血糖のコントロールを良好に保つとともに、糖尿病に伴うさまざまな合併症の予防効果を期待できます。毎日続けることにより効果が表れますので、是非お試し下さい。なお、糖尿病により知覚障害を伴うことがあるため、治療器に接触し火傷しないようご注意下さい。

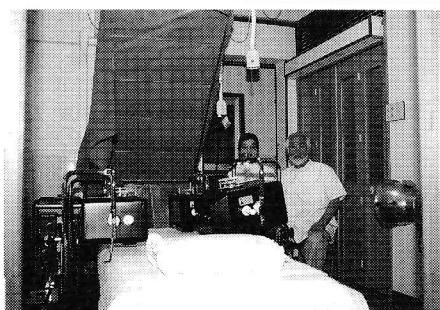
第八期
サナモア光線治療師
養成講座を東京にて開講

成講座を、四名の参加者を迎えて、
 5月に東京において開講しました。
 た。今回、治療師認定を受けられた方々を紹介します (写真右下)。

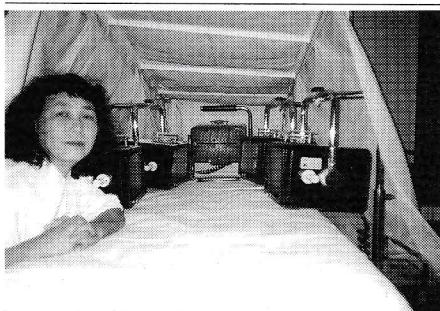
日時…7月12日(土)午後二時
 場所…サナモア光線治療院
 三階会議室

第十四回
「光と熱研究会」の
お知らせ

医療に関連した話題の講演や
 治験例の報告を中心とした研究
 会を開催していますので、ご参
 加下さい。なお参加は無料です。



寺西清春先生、久美子先生



岡田笙子先生



宇都宮 正範



院長…寺西清春先生、久美子先生
 一言…私達とサナモア光線療法

との出会いは今から二十
 年以上前に遡ります。神
 戸の上野先生から色々と
 学びながら光線療法を続
 けて参りましたが、頸椎
 ヘルニアと腰椎ヘルニア

(平成十四年十月一日開院)
 電話…078-841-3535
 住所…神戸市灘区深田町一-1
 十二番美マンション102号
 交通…JR六甲道駅下車徒歩三
 分、または阪急神戸線六
 甲下車徒歩七分

六甲サナモア光線療法所
 (写真上)

第八期サナモア光線治療師養成講座を、四名の参加者を迎えて、5月に東京において開講しました。今回、治療師認定を受けられた方々を紹介します (写真右下)。

院長…岡田笙子先生
 一言…福岡の母の影響で、子供の頃よりサナモアを使っています。その効果にはいつも驚かされていました。これからは、少しでも多くの方が健康で快適に過ごせますように、朝の来ない夜はなし」をモットーとして、サナモア光線の啓蒙、普及活動に励む所存であります。

を治した自身の経験も手
 伝つて、この程、光線治療
 所を開設致しました。こ
 れからも多くの経験を重
 ね、皆様に喜んで頂ける
 ような治療所を目指して
 努力する所存であります。

ライトセラピィ・とつか
 (写真下)

(平成十四年十二月一日開院)

電話…045-881-8924
 住所…横浜市戸塚区戸塚町七
 四-126(郷和台)
 交通…JR戸塚駅西口バスセン
 ターより大船行き長久保
 下車徒歩七分

◆募集◆

サナモア光線治療師

当協会の趣意に賛同され、
 サナモア光線療法の普及に
 ご協力頂ける方、治療院の
 開業を検討なさりたい方は、
 お問い合わせください

サナモア光線治療院

〒153-0063
 東京都目黒区目黒1-23-11
 TEL (03) 5759-3710
 FAX (03) 5759-3720

治
驗
例
報
告

脛骨の複雑骨折が

驚くほど早く軽快

神戸市 ウエノ光線療研

上野 健太郎氏報告

症例 41歳 男性 教員
症状 修学旅行で生徒を引率してスキーに行った際、ゲレンデでブッシュに引っかかり激しく転倒した。最寄りの診療所で応急処置を受けた後、即日帰宅して近医整形外科を受診。レントゲン検査などから脛骨の複雑骨折と診断され、ギブス固定および感染予防のために抗生素を投与された。しかしながら、翌日全身に薬物アレルギーを疑う湿疹が出現したため、サンモア愛用者である母親に勧められて来所した。

療法経過 治療はB.C.カーボンを使い、脛骨の骨折した患部を正面から30分、両側からそれを10分、次にA.B.カーボンで腹部10分、腰部10分、足裏20分の照射を1日に二回から三回行うよう指示した。四、五日で痛みと腫れはかなり軽減し、その後、日増しに症状は改善、約一

か月で出勤可能な状態にまで回復した。病状から判断して少なくとも入学式までは杖を

離せないだろうと言っていた医師も回復の速さに驚かれていた。本人にとって、このように治療期間を短縮でき、新学期からの校務を同僚の先生方に迷惑をかけずに果たせたことは非常に嬉しく、心からサンモア光線療法に感謝されていた。

(TEL) 078-333-1358

治
驗
例
報
告

福岡県春日市 育美健康光線療研

山崎 いく子氏報告

症例 54歳 男性
症状 サンモア愛用者の方から電話で、近頃、尿が近くなり、排尿の終わりに少し痛みがあるので悪い病気ではないかといふ問い合わせを頂きました。こちらから病院での検査を勧めたところ、しばらく光線療法で様子をみて、どうしても治らないようなら病院に行くことでした。

療法経過 治療はB.D.カーボンで下腹部は一日に何回でもよう射するよう指示しました。さらに一週間程経過した頃電話してみると、排尿の時に、からから音をたてて便器に結石が落ちたとのことで、その結石は記念数日前、排尿の時に、からから音をたてて便器に結石が落ちたとのことで、その結石は記念として大切に取つてあるので今度機会があつたらお見せすると

ることと、水分を多めに飲むように指示しました。さらに一週間程経過した頃電話してみると、排尿の際に尿が混じり赤くなるようになつたけどこれまで通りの照射方法でよいかとの質問でした。ご相談の内容から、もしもしたら膀胱に結石ができるかもしれません。そこで、その結石が降りてきてから病院に行くことでした。こちらから病院に行くことでした。

(TEL) 092-581-1039
572-1573

治
驗
例
報
告

悩んでいた慢性湿疹が

光線療法で治った

川崎市 東京光線治療院

海渡 一二三氏報告

症例 31歳 女性 自営業
症状 平成十三年五月頃から、身体全体、とくに顔面、腹部、

尿道につかえているのではないことを考え、B.D.カーボンで何時間でもよいから下腹部を照射す

サンモアカーボンの類似品にご注意下さい

サンモア A (緑印)、B (赤印)、C (青印)、D (黄印) カーボンは、その使用法を書いた著書「光線療法学」ともどもご愛用者各位の御信頼を戴き、全国津々浦々まで高い評価を受けておりますことはご存じの通りです。

ところが他社製カーボンに「光線療法学」をセットしたり、当研究所が独自に広めたカーボンの呼び名のA、B、C、Dや緑印、赤印、青印、黄印を勝手に流用したり、あたかもサンモアと同じと見せかけて販売している業者がいます。もとより、このような道理にもとる人をあざむく行為は断じて許されるものではありませんが、当研究所としては他社製カーボンを使用した場合の効果について一切の責任は持てませんので、皆様もご注意下さい。

なおカーボンについて疑問の点がありましたらお問い合わせ下さい。

株東京光線療法研究所

<四ページからつづく>

認め、一部に潰瘍形成がみられていた。そこで、病院を受診したところ、慢性湿疹と診断され、副腎皮質ステロイド剤や抗生素の投与を受けたが症状に改善はみられず、アトピー性皮膚炎を光線療法で治した友人の紹介で、翌年七月に来所した。初診時、皮膚の表面はかさかさで赤くかぶれたような状態で、アトピー様の皮膚炎を呈していた。患者は自営業で毎日の通院が困難であつたため、早速光線治療器を購入し自宅での光線療法を始め、月に一回来院して治療することにした。

療法経過 治療にはBDカーボンを使用し、当初、光線を患者

距離をたもつて照射した。左側臥位にて顔面、腰部、膝、腹部、後頭部、足裏に10分の照射と皮膚部位の照射を行つた。次に、仰臥位にて左耳部、右肩部、左腰部、右膝側面に10分の同時照射と右耳部、左肩部、右腰部、左膝側面に10分の同時照射を行つた。自宅での光線治療を毎日続けたところ、始めて五ヶ月たつた十二月中旬頃から、皮膚の状態が徐々に改善し、今年一月からは見違える程に良い状態になつてきた。二月十五日に来所された際にはほぼ軽快しており、患者はとても喜ばれていた。

(TEL) 044-733-15067

治
驗
例
報
告

項部の腫れ物（せつ）を

奈良県 森カイロ療術院 森 徹郎氏報告

症例 30歳 男性 会社員
症状 数日前から体調が悪く、項部に発赤、腫脹をともなう腫れ物ができ、激しい痛みのため来院時には、項部に圧痛と熱感

治療法により治療
症例 30歳 男性 会社員
症状 数日前から体調が悪く、項部に発赤、腫脹をともなう腫れ物ができ、激しい痛みのため

治療法経過 治療にはBDカーボンを使用し、当初、光線を患者

をともなう腫れ物を認め、内部に膿が貯留している状態であつたため、排膿する必要があると判断し早速光線療法を開始した。治療はBCカーボンにて、患部である項部と足裏を、

治療法経過 治療にはBDカーボンを使用し、当初、光線を患者

をともなう腫れ物を認め、内部に膿が貯留している状態であつたため、排膿する必要があると判断し早速光線療法を開始した。治療はBCカーボンにて、患部である項部と足裏を、

全自动光線治療器
はつらつさんと
ジョイントカーボン

サナモアはカーボンの芯剤を完全燃焼させることで最も効果のあるスペクトルを含む光線を放射するように、正面からカーボンをぶつける正面発光式を採用しています。そのため手動式のサナモア7号器・8号器では照射時間が十分強で切れ、長時間の照射に

自動光線治療器はつらつさんで、照射時間は5分刻みで60分まで設定でき、時間に合わせてジョイントできるサナモアカーボンをつないでおけば、自動的にカーボンを送り安定した光線を放射します。

なおはつらつさんご使用のため手動式のサナモア7号器・8号器では照射時間が十分強で切れ、長時間の照射に絶対に使用しないで下さい。使用上の注意は、「はつらつさん取扱説明書」をご覧下さい。

治
驗
例
報
告

腰部脊柱管狭窄症に 対する光線療法の効果

西東京市 ひばりヶ丘治療院 野島 豊子氏報告

症例 66歳 男性 土木業
症状 糖尿病に対する医師からの指導で、運動には十分気を配

ていているが、最近、十五分くらい歩くと臀部から下肢にかけて痛みを自覚し歩行を途中で中断せざるをえない状態になつていて。病院では腰で神経を圧迫しているためと説明を受け牽引療法を行つては改善しないため来院した。

(TEL) 0424-131-7333

(TEL) 045-591-3810

BDカーボンにて腹部、腰部を30分照射した。終了後には患部より、膿が自然と流れ出していた。その後、数日にわたり排膿が続き、

四日後に来院された時には、すつかり悪い物が出きったという感じで睡れも引いていた。

(TEL) 075-781-5336

前号にて、当治療室における不妊患者の体験談を掲載させて頂きましたが、その後、多くの方からお問い合わせを受けました。その中で、妊娠中の光線療法に関する問い合わせが意外に多かつたのでご報告させて頂きますが、妊娠中の光線療法は、母体および胎児双方に対してもかなりの効果を感じております。また、臨月に入つてからの治療についてのご質問も頂きましたが、私は、妊娠初期から中期にかけての方が望ましいと考えております。

ますが、妊娠中の光線療法は、母体および胎児双方に対してもかなりの効果を感じております。また、臨月に入つてからの治療についてのご質問も頂きましたが、私は、妊娠初期から中期にかけての方が望ましいと考えております。

関根榮一先生からの「」報告

5分、腰部5分、足裏10分を、
Bカーボンで肛門部20分、腹部
の肛門周囲炎の療法に従い、A
5分、腰部5分、足裏10分を、

肛門周囲炎が 光線で治りました

神戸市 柴○和○様(63歳)

夫婦二人いつまでも サナモアを愛用します

熊本県 徳○良○様

追記..昭和四十五年頃、当時
住んでいた沼津市から新幹線と
山手線を乗り継いで、目黒の研
究所までサナモアを買い求めに
行って以来、ずっと愛用させて
頂いております。

一日二回、多いときには三回照
射しました。その結果、三日目
頃から腫れが次第に引き始め、
約一週間ですっかり腫れが引い
て治ってしまいました。その後、
今まで全く異常なく、順調に
経過しております。

これまで夫婦そろってサナモ
アを愛用してきましたが、びつ
くりするような治り方にはいつも
も驚かされています。サナモア
を使用する頻度は、これからさ
うに増えることだと思いますが、
夫婦二人でいつまでもサナモア
を使い続けていきたいと思って
います。これからもよろしくお
願い致します。

サナモア体験記募集

—サナモアの効果は体験し
ないとい信じられないところ
がありますが、実際に効果
を体験した体験記ほど説得
力のあるものはありません。
—

(本紙の無断転用を禁止します。)

〒153-0063 東京都目黒区目黒4-6-18
サナモア光線協会 TEL (03) 3793-1521
三七一ニ一五三二ニ

「健康と光線」の購読者を募集します。
また事業の詳細はお問い合わせ下さい。

医学博士 宇都宮 光明

一、季刊紙、「健康と光線」の発行
二、サナモア光線治療師の募集と育成
の事業を行います。

サナモア光線協会は、太陽光線こそ健康
を増進する自然の恵みの源泉であり、生命力
を高めて病気の予防、治療に効果がある
との観点に立ち、太陽光線に近似したフル
スペクトル光線を放射するサナモア光線療
法の啓蒙、普及活動に努めることで、国民
の健康、福祉に貢献します。

サナモア光線協会は、サナモア光線療法
に対する認知と評価を高めるため、

サナモア光線協会
趣意書

